

別紙 12-1 「不一致情報出力項目表」(出港前報告日時 (A T D) 業務実施後配信される項目)

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	出力コード ^(※3)	内容
2	船舶コード	M	信号符字 (コールサイン)	船舶の信号符字 (コールサイン) が出力される。
3	航海番号	C		航海番号が出力される。
4	船会社コード	M		N A C C S用船会社コード (※) が出力される。 ※船会社に対してN A C C Sセンターが払い出すコード
5	船積港コード	C	港コード (業務コード集の 国連L O C O D E (国名コード含む) を参照)	船積港コードが港コード (国連L O C O D E 5桁) で出力される。
6	船積港枝番	C		船積港枝番が出力される。
7	出港年月日	C		出港年月日が西暦 (8桁) で出力される。
8	出港時分	C		出港時間が時分 (4桁) で出力される。
9	グリニッジ標準時差分	C		(1) 現地時間とグリニッジ標準時との差分が正表示「+」又は負表示「-」及び時分 (4桁) で出力される。 (2) 出港年月日及び出港時間にグリニッジ標準時を入力した場合は、「00000」が出力される。
10	緩和措置対象地域識別	C		船舶が緩和措置対象地域から出港した場合は、「Y」が出力される。
11	船卸港コード	C	港コード (業務コード集の 国連L O C O D E (国名コード含む) を参照)	出力されない。
12	船卸港枝番	C		出力されない。
13	入港年月日	C		出力されない。
14	オーバーフロー識別	C		(1) 出力対象B/Lが100件を超える場合は、「Y」が出力される。 (2) 「Y」が出力された場合は、出力されていないB/Lが存在するため、出港前報告一覧照会 (I M L) 業務を利用して確認すること。
※以下 [15] から [21] までの項目は、最大 100 回繰り返し出力される。				
15	B/L番号	M		(1) B/L番号が昇順で出力される。 (2) 不一致と判定されたB/L番号のみ出力される。
16	不一致識別 (ハウスB/L未登録)	C		マスターB/Lに対してハウスB/Lの登録がない場合は、「H」が出力される。

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	出力コード ^(※3)	内容
17	不一致識別 (マスターB/L未登録)	C		ハウスB/Lに関連付けが行われているマスターB/Lに対して、出港前報告(AMR)業務が行われていない場合は、「M」が出力される。
18	不一致識別 (船舶情報不一致)	C		関連付けが行われているマスターB/L及びハウスB/Lの船舶情報が異なる場合は、「S」が出力される。
19	不一致識別 (報告期限超過)	C		報告期限を超過している場合は、「T」が出力される。
20	不一致識別 (出港前報告未済)	C		出力されない。
21	不一致識別 (出港日時報告未済)	C		出力されない。

(※1) 各業務に対応した業務仕様書(出力項目)の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>)に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

① 「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
X	出力されない項目

② 「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目A	C	
項目B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

上位レベル項目があり、下位レベル項目M(必須項目)の場合、出力必須となる。

(※3) 業務コード集については、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>)に掲載している。

別紙 12-2 「不一致情報出力項目表」(積荷目録提出 (DMF) 業務実施後配信される項目)

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	出力コード ^(※3)	内容
2	船舶コード	M	信号符字 (コールサイン)	船舶の信号符字 (コールサイン) が出力される。
3	航海番号	C		積荷目録情報登録 (MFR) 業務で当該項目を入力した場合に限り航海番号が出力される。
4	船会社コード	M		NACCS用船会社コード (※) が出力される。 ※船会社に対してNACCSセンターが払い出すコード
5	船積港コード	C	港コード (業務コード集の 国連LOCODE (国名コード含む) を参照)	出力されない。
6	船積港枝番	C		出力されない。
7	出港年月日	C		出力されない。
8	出港時分	C		出力されない。
9	グリニッジ標準時差分	C		出力されない。
10	緩和措置対象地域識別	C		出力されない。
11	船卸港コード	C	港コード (業務コード集の 国連LOCODE (国名コード含む) を参照)	船卸港コードが国連LOCODE (5桁) で出力される。
12	船卸港枝番	C		船卸港枝番が出力される。
13	入港年月日	C		入港年月日が出力される。
14	オーバーフロー識別	C		(1) 出力対象B/Lが100件を超える場合は、「Y」が出力される。 (2) 「Y」が出力された場合は、出力されていないB/Lが存在するため、IML業務又は積荷目録状況照会 (IMI) 業務を利用して確認すること。
※以下 [15] から [21] までの項目は、最大 100 回繰り返し出力される。				
15	B/L番号	M		(1) B/L番号が昇順で出力される。 (2) 不一致と判定されたB/L番号のみ出力される。
16	不一致識別 (ハウスB/L未登録)	C		出力されない。
17	不一致識別 (マスターB/L未登録)	C		出力されない。

項番 ^(※1)	項目名	区分 ^(※2)	出力コード ^(※3)	内容
18	不一致識別 (船舶情報不一致)	C		出力されない。
19	不一致識別 (報告期限超過)	C		出力されない。
20	不一致識別 (出港前報告未済)	C		AMR業務が行われていない場合は、「A」が出力される。
21	不一致識別 (出港日時報告未済)	C		ATD業務が行われていない場合は、「D」が出力される。

(※1) 各業務に対応した業務仕様書（出力項目）の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

①「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
X	出力されない項目

②「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目A	C	
項目B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

上位レベル項目があり、下位レベル項目M（必須項目）の場合、出力必須となる。

(※3) 業務コード集については、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。